

平成 26 年度

総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に関する調査結果

～現場に役立つ教育センターを目指して～



Web 公開用

【目次】

I	実施概要	1
1	調査目的	
2	調査対象	
3	調査期日	
4	調査内容	
5	調査方法	
6	回答数及び回収率	
7	その他	
II	研修・支援・研究業務の推進に関する調査（小中高特）	3
1	回答者に関わる調査	3
2	研修業務推進に関わる調査	4
3	支援業務推進に関わる調査	14
4	研究業務推進に関わる調査	19
5	総合教育センターの研修・支援・研究業務への意見・要望	23
III	研修・支援・研究業務の推進に関する調査（幼稚園）	24
1	回答者に関わる調査	24
2	研修業務推進に関わる調査	24
3	支援業務推進に関わる調査	25
IV	分析・考察	
1	小・中・高・特についての分析・考察	27
2	幼稚園についての分析・考察	31

I 実施概要

1 調査目的

平成 27 年度以降の総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に役立てるため、学校現場のニーズを把握するものです。

2 調査の対象

- | | | |
|---------------|-----------------------------|------------------|
| (1) 市町村立幼稚園 | (53 園) | ※調査内容は小中高特とは異なる。 |
| (2) 市町村立小・中学校 | (小：345 校, 中：169 校) | |
| (3) 県立中学校 | (1 校) | |
| (4) 県立高等学校 | (65 校, 全日制・定時制・通信制：計 72 回答) | |
| (5) 市立高等学校 | (1 校) | |
| (6) 県立特別支援学校 | (14 校) | 計 655 |

3 調査期日

平成 26 年 8 月

4 調査内容

- (1) 総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に関する調査（対象：小中高特）
 - ア 研修業務推進に関わる調査
 - (ア) 研修講座の活用について（質問 3～質問 5）
 - (イ) 研修内容のニーズについて（質問 6～質問 13）
 - イ 支援業務推進に関わる調査
 - (ア) 各研修・相談のニーズについて（質問 14～質問 18）
 - ウ 研究業務推進に関わる調査
 - (ア) 研究成果物の活用について（質問 19）
 - (イ) 研究成果物の入手方法について（質問 20～質問 21）
 - (ウ) 研究内容のニーズについて（質問 22）
 - エ 総合教育センターの研修・支援・研究業務への意見・要望（質問 23）
- (2) 総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に関する調査（対象：幼稚園）
 - ア 研修業務推進に関わる調査
 - (ア) 研修講座のニーズについて（質問 2～質問 4）
 - イ 支援業務推進に関わる調査
 - (ア) 各研修・相談のニーズについて（質問 5～質問 9）
 - ウ 総合教育センターの研修・支援・研究業務への意見・要望（質問 10）

5 調査方法

調査は、岩手教育情報交流ネットを利用して行う。

6 回答数及び回収率

校種	対象数	回答数	回収率	備考	参考 (H24 回収率)
市町村立幼稚園	53	41	77.4%		—
市町村立小学校	345	337	97.7%		98.1%
市町村立中学校	169	147	87.0%		96.8%
県立中学校	1	1	100%		100%
県立・市立高等学校	72	72	100%		100%
県立特別支援学校	14	14	100%		100%

7 その他

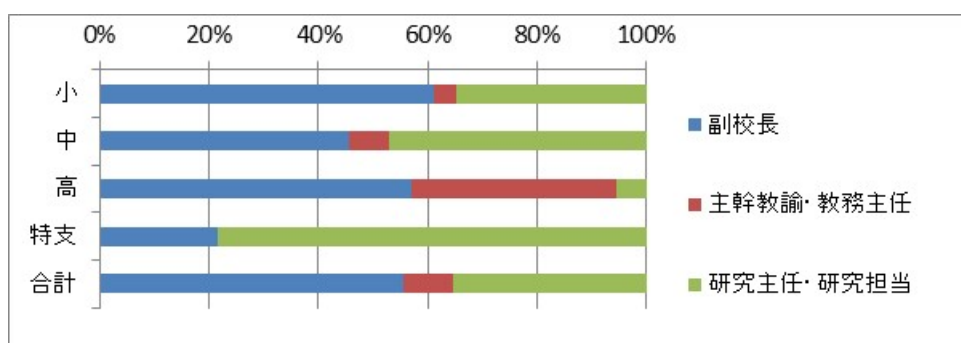
自由記述の回答については、JustSystem 社テキストマイニングソフト「Trustia」により処理し、クラスタ分析によりグルーピングされた主題（話題）を順位付けした。

Ⅱ 研修・支援・研究業務の推進に関する調査（小中高特）

1 回答者に関わる調査（質問1～質問2）

【質問1】あなたの学校の校種を回答してください。
 【質問2】回答者の職名（校務分掌）を回答してください。

	小	中	高	特支	合計
副校長	204 (61.3%)	67 (45.6%)	41 (56.9%)	3 (21.4%)	315 (55.7%)
主幹教諭・教務主任	13 (3.9%)	11 (7.5%)	27 (37.5%)	0 (0%)	51 (9.0%)
研究主任・研究担当	116 (34.8%)	69 (46.9%)	4 (5.6%)	11 (78.6%)	200 (35.3%)



（結果）

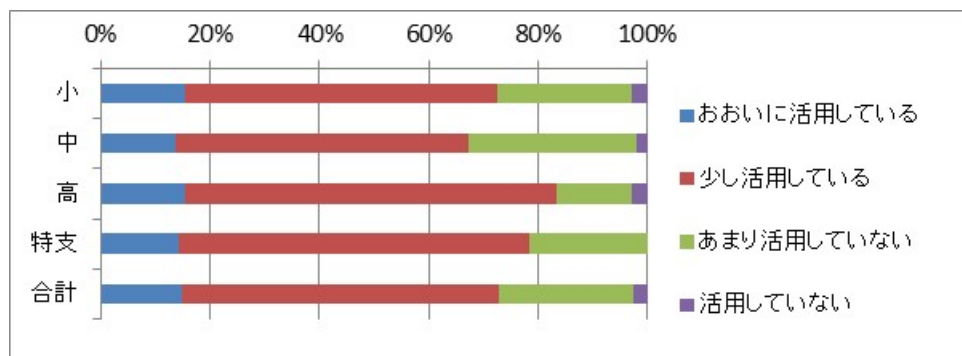
- ・ 小学校・中学校・高等学校は副校長の回答がほぼ半数以上が占めている。
- ・ 特別支援学校は研究主任・研究担当からの回答が約8割を占めている。

2 研修業務推進に関わる調査

(1) 研修活用状況に関わる調査（質問3）

【質問3】当センターが実施した研修内容の活用について、次の中から1つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
おおいに活用している	52 (15.4%)	20 (13.6%)	11 (15.3%)	2 (14.3%)	85 (14.9%)
少し活用している	193 (57.3%)	79 (53.7%)	49 (68.1%)	9 (64.3%)	330 (57.9%)
あまり活用していない	83 (24.6%)	45 (30.6%)	10 (13.9%)	3 (21.4%)	141 (24.7%)
活用していない	9 (2.7%)	3 (2.0%)	2 (2.8%)	0 (0%)	14 (2.5%)



(結果)

- ・各校種とも研修内容については、「おおいに活用している」「少し活用している」を合わせると約7割になる。
- ・最も活用割合が高いのは高等学校である。

(2) 活用している研修（質問4）[自由記述]

【質問4】「質問3」の質問で、「おおいに活用している」「少し活用している」と回答した場合にのみ答えて下さい。どんな研修内容が学校で活用できていますか。具体的な研修の内容を箇条書きで記述してください。

ア 小学校

※回答数の多いもの、上位10項目

回答内容	回答数
特別支援教育	39
授業力向上研修	39
教育研究発表会	33
夏季公開講座	30
複式指導	24
情報教育	21
情報モラル指導	18
冬季公開講座	16
WISC	13
国語	12

(クラスター分析による)

イ 中学校 [自由記述]

※回答数の多いもの、上位10項目

研修内容	回答数
特別支援教育	19
基本研修	16
授業力向上研修	16
情報教育	15
希望研修	12
情報モラル	10
教育研究発表会	7
教育相談	6
SQS アンケート	5
免許外研修	5

(クラスター分析による)

ウ 高等学校 [自由記述]

※回答数の多いもの、上位10項目

研修内容	回答数
基本研修	29
授業力向上研修	21
希望研修	13
教育相談	11
特別支援教育	7
教科研修	7
新任教務主任研修	6
経験者5年研修	6
情報モラル	5
教科指導法	5

(クラスター分析による)

エ 特別支援学校 [自由記述]

※回答数の多いもの、上位3項目

研修内容	回答数
WISC	5
情報教育	4
教育相談	2

(クラスター分析による)

(3) 活用していない理由に関わる調査(質問5) [自由記述]

【質問5】「質問3」の質問で、「あまり活用していない」「活用していない」と回答した場合にのみ答えてください。活用できない理由は何ですか。その理由を箇条書きで記述してください。

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
遠方である／他の研修への参加で忙しい	54
希望が少ない／周知ができていない	21
費用がない	18
時間がない	15

(クラスター分析による)

(4) センターの研修として取り上げてほしい教科・科目に関わる調査（質問6）

【質問6】岩手県全体や市町村，あなたの学校の課題を解決するために，総合教育センターの研修内容として取り上げてほしい教科・科目を以下の項目の中から選んで（複数回答可）回答してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
国語	194	57.6%	57	38.8%	25	34.7%	5	35.7%	281	49.3%
社会 <small>（地理・歴史、公民含む）</small>	71	21.1%	46	31.3%	19	26.4%	2	14.3%	138	24.2%
算数・数学	194	57.6%	72	49.0%	46	63.9%	5	35.7%	317	55.6%
理科	98	29.1%	52	35.4%	30	41.7%	3	21.4%	183	32.1%
生活	32	9.5%	6	4.1%	1	1.4%	2	14.3%	41	7.2%
音楽	50	14.8%	36	24.5%	4	5.6%	2	14.3%	92	16.1%
図画工作／美術	51	15.1%	37	25.2%	4	5.6%	2	14.3%	94	16.5%
書道	31	9.2%	7	4.8%	2	2.8%	1	7.1%	41	7.2%
家庭／技術・家庭	28	8.3%	47	32.0%	7	9.7%	1	7.1%	83	14.6%
保健体育	59	17.5%	35	23.8%	8	11.1%	4	28.6%	106	18.6%
工業	4	1.2%	0	0%	10	13.9%	0	0%	14	2.5%
農業	7	2.1%	0	0%	6	8.3%	0	0%	13	2.3%
商業	3	0.9%	0	0%	7	9.7%	0	0%	10	1.8%
水産	4	1.2%	1	0.7%	1	1.4%	0	0%	6	1.1%
外国語	86	25.5%	64	43.5%	40	55.6%	2	14.3%	192	33.7%
福祉	14	4.2%	10	6.8%	6	8.3%	1	7.1%	31	5.4%
情報	70	20.8%	46	31.3%	16	22.2%	1	7.1%	133	23.3%
その他	19	5.6%	11	7.5%	5	6.9%	6	42.9%	41	7.2%

※ 各校種の上位5項目を色づけ

(5) その他の項目に関わる調査（質問7） [自由記述]

【質問7】「質問6」で「その他」を選択した場合は、具体的な教科・科目を記述してください。

※回答数の多いもの上位3項目

回答内容	回答数
ユニバーサルデザイン／授業改善	19
消費者教育／人権教育	7
総合的な学習の時間／作業学習	6
特別支援教育	5

(クラスター分析による)

(6) センターの研修として取り上げて欲しい教科・科目の研修内容に関わる調査

【質問8】「質問6」で選択した教科・科目の研修内容として、具体的にどんな内容を取り上げてほしいですか。箇条書きで記述してください。

(質問8) [自由記述]

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
言語活動	69
課題解決／体力向上／単元づくり	78
読解力／少人数指導／複式指導	71
教材づくり／教材解釈	27

(クラスター分析による)

(7) センターの研修として取り上げて欲しい領域等に関わる調査（質問9）

【質問9】岩手県全体や市町村、あなたの学校の課題を解決するために、総合教育センターの研修内容として取り上げて欲しい領域等を以下の項目から選んで回答してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
道徳	78	23.1%	37	25.2%	8	11.1%	0	0%	123	21.6%
特別活動	41	12.2%	19	12.9%	2	2.8%	0	0%	62	10.9%
総合的な学習の時間	42	12.5%	20	13.6%	17	23.6%	0	0%	79	13.9%
小学校外国語活動	73	21.7%	3	2.0%	0	0%	1	7.1%	77	13.5%
自立活動	13	3.9%	7	4.8%	4	5.6%	6	42.9%	30	5.3%
学校経営	16	4.7%	7	4.8%	5	6.9%	0	0%	28	4.9%
学級・学年経営	53	15.7%	30	20.4%	12	16.7%	0	0%	95	16.7%
国際理解教育	11	3.3%	7	4.8%	2	2.8%	0	0%	20	3.5%
環境教育	7	2.1%	6	4.1%	2	2.8%	0	0%	15	2.6%
情報教育	50	14.8%	43	29.3%	12	16.7%	0	0%	105	18.4%
ボランティア教育	12	3.6%	13	8.8%	5	6.9%	0	0%	30	5.3%
キャリア教育	38	11.3%	27	18.4%	22	30.6%	6	42.9%	93	16.3%
読書指導	41	12.2%	10	6.8%	4	5.6%	0	0%	55	9.6%
生徒指導	33	9.8%	21	14.3%	10	13.9%	0	0%	64	11.2%
教育相談	40	11.9%	32	21.8%	18	25.0%	1	7.1%	91	16.0%
小規模・複式指導	79	23.4%	8	5.4%	3	4.2%	0	0%	90	15.8%
幼児教育	5	1.5%	0	0%	0	0%	4	28.6%	9	1.6%
特別支援教育	121	35.9%	50	34.0%	26	36.1%	10	71.4%	207	36.3%
伝統文化の教育	11	3.3%	3	2.0%	3	4.2%	0	0%	17	3.0%
復興教育	95	28.2%	41	27.9%	12	16.7%	3	21.4%	151	26.5%
防災教育	51	15.1%	25	17.0%	12	16.7%	1	7.1%	89	15.6%
教育法規	5	1.5%	2	1.4%	1	1.4%	0	0%	8	1.4%
校内研修	29	8.6%	11	7.5%	10	13.9%	2	14.3%	52	9.1%
校内研究	33	9.8%	19	12.9%	1	1.4%	3	21.4%	56	9.8%
その他	9	2.7%	7	4.8%	7	9.7%	2	14.3%	25	4.4%

※ 各校種の上位5項目を色づけ

(8) その他の項目に関わる調査（質問10） [自由記述]

【質問10】「質問9」で「その他」を選択した場合は、具体的な領域等を記述してください。

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
消費者教育	3
ユニバーサルデザイン	2
人権教育	2
作業学習	2
コンプライアンス	2

(クラスター分析による)

(9) センターの研修として取り上げてほしい領域等の研修内容に関わる調査（質問11）

【質問11】「質問9」で選択した領域等の研修内容としてどんな内容を取り上げてほしいですか。箇条書きで記述してください。

ア 小学校 [自由記述]

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
特別支援教育	70
復興教育	60
小規模・複式指導	57
外国語活動	42
総合的な学習の時間	39

(クラスター分析による)

イ 中学校 [自由記述]

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
特別支援教育	37
教育相談	23
復興教育	21
道徳教育	19
情報教育	16

(クラスター分析による)

ウ 高等学校 [自由記述]

※回答数の多いもの5項目

回答内容	回答数
特別支援教育	16
教育相談	12
キャリア教育	11
復興教育	8
生徒指導／読書指導	8

(クラスター分析による)

エ 特別支援学校 [自由記述]

※回答数の多いもの上位5項目

回答内容	回答数
特別支援教育	5
キャリア教育	4
復興教育	4
外国語活動／自立活動	3
校内研究	2

(クラスター分析による)

(10) 健康教育の研修として取り上げてほしい内容に関わる調査（質問 12）

【質問 12】岩手県全体や市町村、あなたの学校の課題を解決するために、健康教育の研修内容として取り上げてほしい内容を以下の項目の中から選んで回答してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
保健学習	37	11.0%	12	8.2%	2	2.8%	0	0%	51	8.9%
保健指導	37	11.0%	12	8.2%	2	2.8%	0	0%	51	8.9%
保健管理	15	4.5%	8	5.4%	5	6.9%	0	0%	28	4.9%
組織活動	13	3.9%	4	2.7%	0	0%	0	0%	17	3.0%
食育（給食指導）	101	30.0%	34	23.1%	18	25.0%	3	21.4%	156	27.4%
安全指導	51	15.1%	20	13.6%	12	16.7%	1	7.1%	84	14.7%
心身の健康	99	29.4%	59	40.1%	29	40.3%	4	28.6%	191	33.5%
生活習慣病	60	17.8%	34	23.1%	17	23.6%	3	21.4%	114	20.0%
体力の向上	129	38.3%	31	21.1%	2	2.8%	3	21.4%	165	28.9%
家庭・地域等との連携	92	27.3%	45	30.6%	12	16.7%	4	28.6%	153	26.8%
アレルギー	114	33.8%	40	27.2%	16	22.2%	1	7.1%	171	30.0%
喫煙・飲酒・薬物乱用	59	17.5%	40	27.2%	20	27.8%	2	14.3%	121	21.2%
性に関する指導	51	15.1%	37	25.2%	16	22.2%	12	85.7%	116	20.4%
感染症	28	8.3%	9	6.1%	6	8.3%	0	0%	43	7.5%
その他	9	2.7%	5	3.4%	2	2.8%	0	0%	16	2.8%

※ 各校種の上位 5 項目を色づけ

(11) その他の項目に関わる調査（質問 13）

【質問 13】「質問 12」で「その他」を選択した場合は、具体的な内容を記述してください。

[自由記述]

※回答数の多いもの上位 5 項目

回答内容	回答数
アレルギー	19
教員研修	8
スマホ依存	5
食育	5
生活習慣病	4

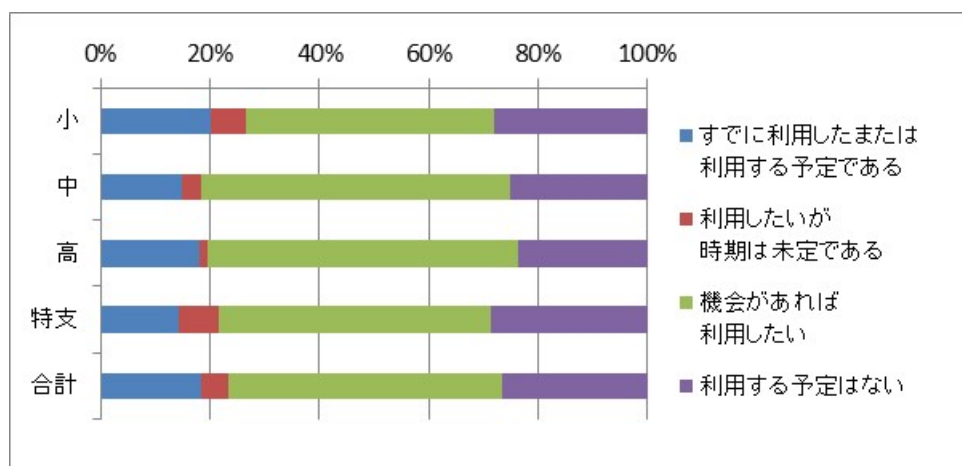
(クラスター分析による)

3 支援業務推進に関わる調査

(1) 要請研修に関わる調査（質問 14） [自由記述]

【質問 14】 総合教育センターでは県内各地や学校で行われる研修会等に総合教育センターの研修指導主事等が訪問して、さまざまな教育分野の課題解決のお手伝いをする「要請研修」を行っています。今年度、この「要請研修」を学校で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
すでに利用したまたは利用する予定である	68 (20.2%)	22 (15.0%)	13 (18.1%)	2 (14.3%)	105 (18.4%)
利用したいが時期は未定である	21 (6.2%)	5 (3.4%)	1 (1.4%)	1 (7.1%)	28 (4.9%)
機会があれば利用したい	154 (45.7%)	83 (56.5%)	41 (56.9%)	7 (50.0%)	285 (50.0%)
利用する予定はない	94 (27.9%)	37 (25.2%)	17 (23.6%)	4 (28.6%)	152 (26.7%)



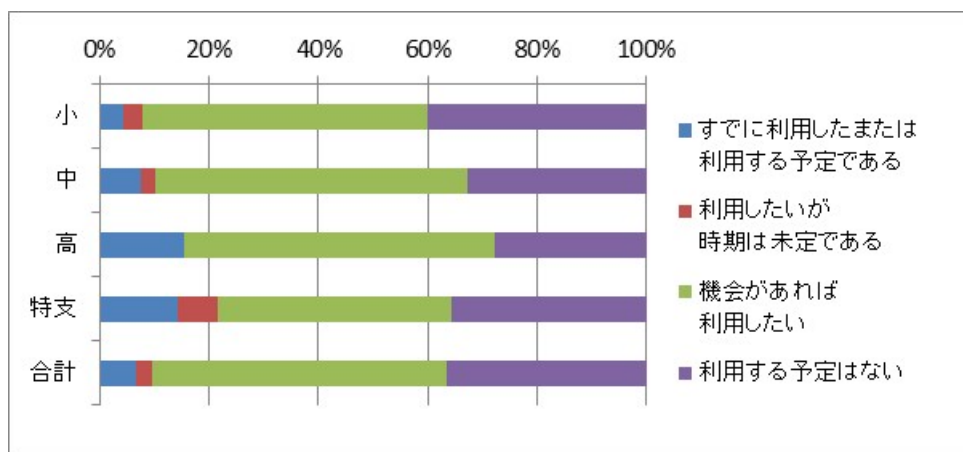
(結果)

- ・ 利用している割合は、約 2 割ほどである。
- ・ 利用したいが、「利用したい」(時期未定、機会があれば含め)と前向きに回答している割合が、小学校が約 5 割、中・高・特別支援が約 6 割ほどである。

(2) 随時研修に関わる調査（質問 15）

【質問 15】 総合教育センターでは希望される先生方のニーズに合わせて、随時、当センターに来ていただいて、施設・設備の利用や課題解決のための「随時研修」を行っています。今年度、この随時研修を職員が利用する予定はありますか。次の中から1つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
すでに利用したまたは利用する予定である	14 (4.2%)	11 (7.5%)	11 (15.3%)	2 (14.3%)	38 (6.7%)
利用したいが時期は未定である	12 (3.6%)	4 (2.7%)	0 (0%)	1 (7.1%)	17 (3.0%)
機会があれば利用したい	176 (52.2%)	84 (57.1%)	41 (56.9%)	6 (42.9%)	307 (53.9%)
利用する予定はない	135 (40.1%)	48 (32.7%)	20 (27.8%)	5 (35.7%)	208 (36.5%)



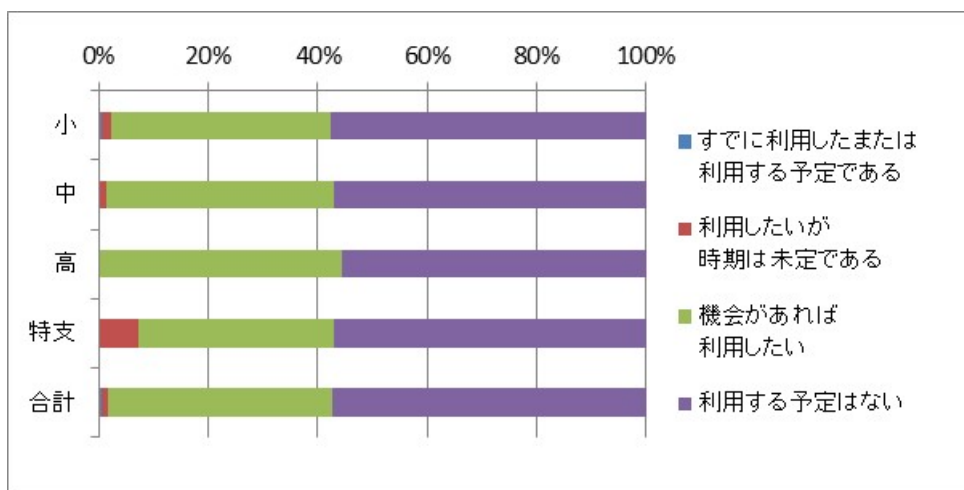
(結果)

- ・ 随時研修を利用している割合は、約7%ほどである。
- ・ 「機会があれば利用したい」「利用する予定はない」合わせて、各校種とも約8割を越えている。

(3) どうようび研修に関わる調査（質問 16）

【質問 16】総合教育センターでは、5～1月の第2・第4土曜日に自主研修等をサポートする「どうようび研修」を実施しています。今年度、このどうようび研修を職員が利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
すでに利用したまたは利用する予定である	2 (0.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (0.4%)
利用したいが時期は未定である	5 (1.5%)	2 (1.4%)	0 (0%)	1 (7.1%)	8 (1.4%)
機会があれば利用したい	136 (40.4%)	61 (41.5%)	32 (44.4%)	5 (35.7%)	234 (41.1%)
利用する予定はない	194 (57.6%)	84 (57.1%)	40 (55.6%)	8 (57.1%)	326 (57.2%)



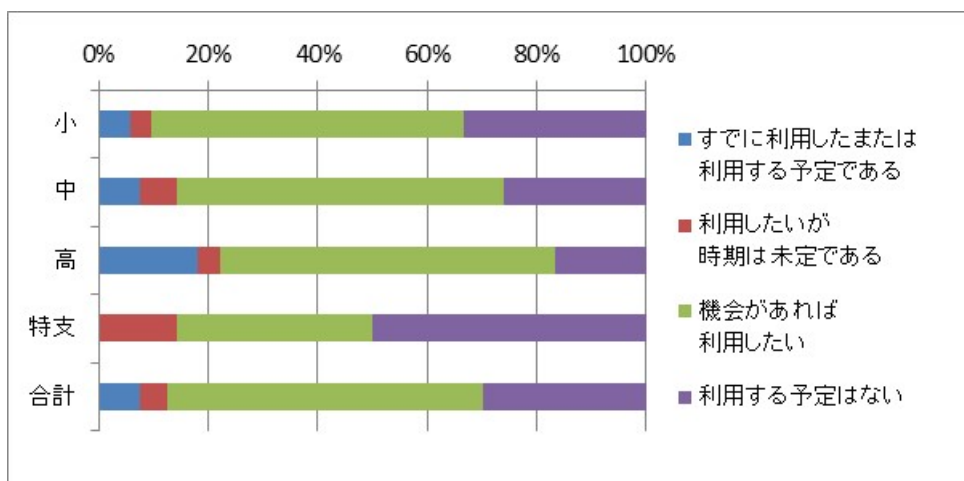
(結果)

- ・ 利用している割合は、約 0.4% である。
- ・ どの校種も「予定なし」と回答した割合は約 50% である。

(4) 教育相談に関わる調査（質問 17）

【質問 17】総合教育センターでは、幼児児童生徒、保護者並びに教職員等に対して、学校生活や特別な支援に関する「教育相談」を行っています。今年度、この教育相談を利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
すでに利用したまたは利用する予定である	19 (5.6%)	11 (7.5%)	13 (18.1%)	0 (0%)	43 (7.5%)
利用したいが時期は未定である	13 (3.9%)	10 (6.8%)	3 (4.2%)	2 (14.3%)	28 (4.9%)
機会があれば利用したい	193 (57.3%)	88 (59.9%)	44 (61.1%)	5 (35.7%)	330 (57.9%)
利用する予定はない	112 (33.2%)	38 (25.9%)	12 (16.7%)	7 (50.0%)	169 (29.6%)



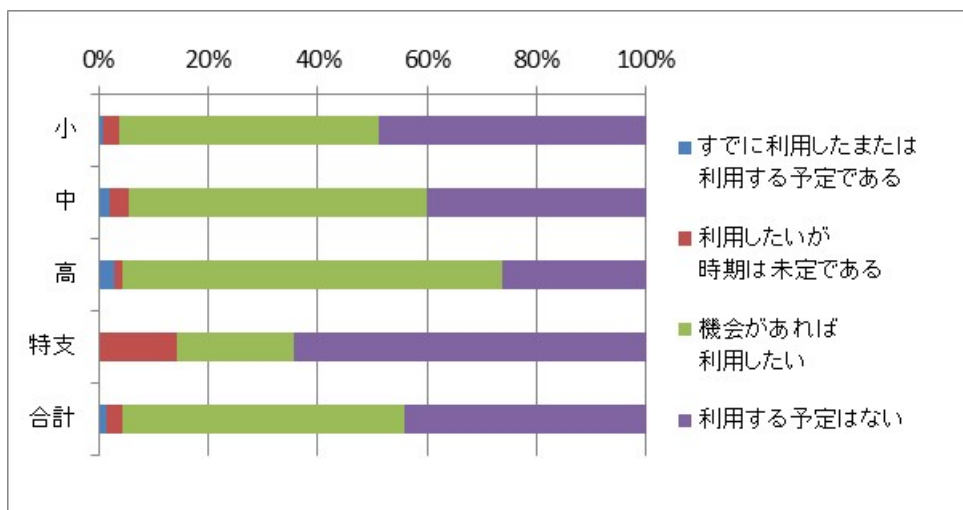
(結果)

- ・利用している割合は、約 7.5%である。

(5) どうよび相談に関する調査（質問 18）

【質問 18】 総合教育センターでは、土曜日にも「教育相談（来所相談）」を行っています。今年度、このどうよび相談を利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

	小	中	高	特支	合計
すでに利用したまたは利用する予定である	3 (0.9%)	3 (2.0%)	2 (2.8%)	0 (0%)	8 (1.4%)
利用したいが時期は未定である	9 (2.7%)	5 (3.4%)	1 (1.4%)	2 (14.3%)	17 (3.0%)
機会があれば利用したい	160 (47.5%)	80 (54.4%)	50 (69.4%)	3 (21.4%)	293 (51.4%)
利用する予定はない	165 (49.0%)	59 (40.1%)	19 (26.4%)	9 (64.3%)	252 (44.2%)



(結果)

- ・ 利用している割合は、約 1.4%である。

4 研究業務推進に関わる調査

(1) センターの研究の活用状況に関する調査（質問 19）

【質問 19】総合教育センターでは、学校現場に役立つことを目指して研究を進めています。平成 25 年度の総合教育センターの研究で、児童生徒の学力向上や授業改善、児童生徒への支援の充実や教育活動の充実に役立った「研究成果物」を以下から選んで回答（複数回答可）してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
高等学校 OJT 推進者のための授業力向上ガイドブック	17	5.0%	7	4.8%	30	41.7%	1	1.4%	55	9.6%
学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科授業づくりガイドブック「読むこと」編	119	35.3%	30	20.4%	5	6.9%	0	0%	154	27.0%
小学校理科の学習指導要領に対応した教材開発「開発教材集」「活用資料」	78	23.1%	6	4.1%	0	0%	0	0%	84	14.7%
小学校家庭、中学校技術・家庭の安全指導資料	10	3.0%	9	6.1%	1	1.4%	0	0%	20	3.5%
授業における電子黒板等 ICT 機器の活用実践集	34	10.1%	18	12.2%	5	6.9%	1	7.1%	58	10.2%
スマートフォンにおける情報モラル指導教材	91	27.0%	51	34.7%	26	36.1%	0	0%	168	29.5%
交流及び共同学習ガイドブック	22	6.5%	7	4.8%	0	0%	9	64.3%	38	6.7%
特別支援教育支援員の業務推進の手引き	47	13.9%	29	19.7%	8	11.1%	5	35.7%	89	15.6%

※ 各校種の上位 5 項目を色づけ

(2) センターの研究の活用状況に関する調査（質問 19）

【質問 19】総合教育センターでは、学校現場に役立つことを目指して研究を進めています。平成 24 年度の総合教育センターの研究で、児童生徒の学力向上や授業改善、児童生徒への支援や教育活動に役立った「研究成果物」を以下から選んで回答（複数回答可）してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」(国語・数学・英語)	52	15.4%	136	92.5%	20	27.8%	2	14.3%	210	36.8%
校内授業研究の進め方ガイドブックⅢ	151	44.8%	42	28.6%	15	20.8%	3	21.4%	211	37.0%
防災教育と関連づけた理科指導資料	27	8.0%	6	4.1%	3	4.2%	0	0%	36	6.3%
高等学校「生物基礎」における観察、実験サポート資料	0	0%	0	0%	9	12.5%	1	7.1%	10	1.8%
防災教育と関連づけた家庭科指導資料	16	4.7%	2	1.4%	0	0%	0	0%	18	3.2%
中学校国語科における電子黒板の活用及び国語の授業づくりに役立つコンテンツ集	0	0%	3	2.0%	0	0%	0	0%	3	0.5%
小学校教師のためのいわて社会科デジタルコンテンツ集	79	23.4%	1	0.7%	0	0%	0	0%	80	14.0%
「NetCommons」を用いた学校情報共有サイト	1	0.3%	4	2.7%	2	2.8%	0	0%	7	1.2%
通知表等と連動した個別の指導計画作成・活用パック（デジタルデータ編，資料編）	13	3.9%	3	2.0%	0	0%	3	21.4%	19	3.3%

※ 各校種の上位 3 項目を色づけ

(3) センターの研究の活用状況に関する調査（質問 21） [自由記述]

【質問 2 1】平成 23 年度以前の研究で児童生徒の学力向上等や授業改善に役立っている「研究成果物」があれば記述してください。

(回答例：一部)

- ・ 校内授業研究の進め方ガイドブック I・II
- ・ 体験的な活動を通じた「情報モラル」指導事例集第 3 版
- ・ G アップシート
- ・ 基本研修等で配付された研修講座テキスト
- ・ 平成 18 年度高等学校授業カブラッシュアッププラン DVD
- ・ 教育研究岩手
- ・ 学習指導案データベース
- ・ 特別支援学校（知的）キャリア教育推進ガイドブック
- ・ 特別支援学校キャリア教育啓発リーフレット（保護者用）（20 年度版）
- ・ 教科・領域を合わせた指導の充実のための資料（理解編・授業実践編）
- ・ 障がい種別指導法基礎

(4) 研究成果物の情報入手方法に関する調査（質問 22）

【質問 2 2】活用した研究成果物は、どのような方法で知りましたか。次の中から選んで（複数回答可）回答してください。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
岩手県教育研究発表会	150	44.5%	70	47.6%	16	22.2%	4	5.6%	240	42.1%
「教育研究」 (冊子または CD)	56	16.6%	33	22.4%	11	15.3%	3	4.2%	103	18.1%
センターの Web ページ	161	47.8%	83	56.5%	27	37.5%	10	71.4%	281	49.3%
研修資料	66	19.6%	46	31.3%	26	36.1%	1	7.1%	139	24.4%
センターのメールマガジン	52	15.4%	23	15.6%	4	5.6%	0	0%	79	13.9%
研究紹介リーフレット	12	3.6%	11	7.5%	4	5.6%	2	14.3%	29	5.1%
他者からの紹介	21	6.2%	18	12.2%	4	5.6%	0	0%	43	7.5%
その他	12	3.6%	6	4.1%	4	5.6%	0	0%	22	3.9%

※ 各校種の上位 3 項目を色づけ

(5) その他の項目に関する調査（質問 23） [自由記述]

【質問 2 3】「質問 2 2」で「その他」を選択した場合は、具体的な情報入手方法を記述してください。

回答内容	回答数
送付／インターネット／チラシ	8
研修講座	6
紹介	4
学校へ配布	4
資料として活用	3

（クラスター分析による）

(6) センターの研究として取り上げてほしいものに関する調査（質問 24） [自由記述]

【質問 2 4】岩手県全体や市町村、あなたの学校の課題を解決するために総合教育センターの研究として取り上げてほしいことを具体的に記述してください。

※回答数の多いもの上位 5 項目

回答内容	回答数
G アップシート／体力向上／人材育成	57
言語活動／小規模・複式指導／基礎・基本の定着	29
学力向上	20
特別支援教育／学級・学年経営／ユニバーサルデザイン	20
危機管理／道徳教育	18

（クラスター分析による）

5 総合教育センターの研修・支援・研究業務への意見・要望

(1) 意見・要望に関する調査（質問 25） [自由記述]

【質問 25】「総合教育センターの研修，支援，研究業務」について，意見，要望があれば記述してください。

※回答数の多いもの上位 5 項目

回答内容	回答数
学力向上に有効な取り組み	26
研修	24
研究	14
教材	12
要請研修	11

(クラスター分析による)

Ⅲ 研修・支援・研究業務の推進に関する調査（幼稚園）

1 回答者に関わる調査（質問1）

【質問1】回答者の職名（分掌）を次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
園長	9
副園長・教頭	25
主任教諭・研究担当	7
計	41

2 研修業務推進に関わる調査

(1) センターの研修内容として取り上げてほしいもの（質問2）

【質問2】岩手県全体や市町村、あなたの園の課題を解決するために総合教育センターの研修内容として取り上げてほしいことを、以下の具体的内容から選んで（複数回答可）回答してください。

回答内容	回答数
幼児理解	22
教育課程	9
指導計画の作成	10
領域「健康」	2
領域「人間関係」	4
領域「環境」	3
領域「言葉」	4
領域「表現」	1
協同的な学び	11
幼小接続	8
指導と評価に生かす記録	22
子育て支援	5
家庭や地域との連携	8
幼児期の特別支援教育	9
園内研究（研修）	17
学校評価	22
その他	3
計	160

（結果）

・「幼児理解」「指導と評価に生かす記録」「学校評価」への要望が最も多い。

3 支援業務推進に関わる調査

(1) 要請研修（質問5）

【質問5】総合教育センターでは県内各地域や幼稚園で行われる研修会等に総合教育センターの研修指導主事等がかがって、さまざまな教育分野の課題解決のお手伝いをする「要請研修」を行っています。この「要請研修」を園で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
すでに利用したまたは利用する予定である	0
利用したいが時期は未定である	2
機会があれば利用したい	36
利用する予定はない	3
計	41

(2) 随時研修（質問6）

【質問6】総合教育センターでは、希望される先生方のニーズに合わせて、随時、当センターに来ていただいて、施設・設備の利用や課題解決のための「随時研修」を行っています。この「随時研修」を園で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
すでに利用したまたは利用する予定である	1
利用したいが時期は未定である	1
機会があれば利用したい	31
利用する予定はない	8
計	41

(3) どうようび研修（質問7）

【質問7】総合教育センターでは、5～1月の第2・第4土曜日に自主研修等をサポートする「どうようび研修」を実施しています。この「どうようび研修」を園で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
すでに利用したまたは利用する予定である	1
利用したいが時期は未定である	1
機会があれば利用したい	27
利用する予定はない	12
計	41

(4) 教育相談（質問8）

【質問8】総合教育センターでは、幼児、保護者並びに教職員に対して、園生活や特別な支援に関する「教育相談」を行っています。この「教育相談」を園で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
すでに利用したまたは利用する予定である	0
利用したいが時期は未定である	1
機会があれば利用したい	32
利用する予定はない	8
計	41

(5) どうようび相談（質問9）

【質問9】総合教育センターでは、土曜日にも「教育相談（来所相談）」を行っています。「どうようび相談」を園で利用する予定はありますか。次の中から一つ選んで回答してください。

回答内容	回答数
すでに利用したまたは利用する予定である	0
利用したいが時期は未定である	1
機会があれば利用したい	26
利用する予定はない	11
計	38

【小・中・高・特別支援学校についての分析結果】

「研修」について

- 1 小・中学校では、特別支援に関する研修内容が多く活用されている。特別な支援が必要とされている児童・生徒が増加傾向にある中で、その対応に苦慮しているものと考えられる。今後、教育センターとしても更に特別支援教育に関する研修内容の充実に努めていきたい。
- 2 高等学校では、基本研修や授業力向上研修の内容が特にも活用されており、教科指導に直結する内容の研修のニーズが高い様子が伺える。
- 3 研修で取り上げて欲しい教科・科目については、全校種を通じて『算数・数学』のニーズが高く、「言語活動」「課題解決／単元づくり」「読解力／複式指導」など具体的内容に対しての要望が多くあげられた。上記の項目に関連した内容を重点的に研修へ取り入れるよう検討していきたい。
- 4 研修で取り上げて欲しい領域については、小・中・高等学校のいずれの校種も「特別支援教育」が最も高く、通常学級に在籍する児童生徒のうち、支援を要する児童生徒がいずれの校種でも多く在籍する傾向にあるためと考えられる。
- 5 センター研修の内容が学校で活用されていない理由としては、「遠方で参加しにくい」「他の研修で忙しい」等、地理的条件が不利なことや業務内容の優先順位が低いということが分かる。このような状況に対応するため、移動センターや Web ページでの情報発信を積極的に取り組み、花巻の教育センターへ通所せずとも教育情報を得る取り組みを強化していきたい。
- 6 健康教育の研修内容としては、小学校「体力向上」、中・高「心身の健康」、特別支援学校「性に関する指導」等、各校種で特有のニーズがあげられ、さらには「アレルギー」に関する内容の研修の要望が多くあげられた。

「支援」について

- 1 『要請研修』については、各校種とも約 14%が「すでに利用した、または利用する予定」である。逆に、約 70%は利用に関しては「利用する予定がない」と回答されている。教育センター側からの支援体制についての情報提供を積極的にしていく必要があると思われる。
- 2 『随時研修』についても約 80%が「利用する予定がない」と回答されている。上記と併せて情報提供をしていきたい。
- 3 『どうぶ研修、どうぶ相談』とも、利用している割合はわずか（どうぶ研修約 0.4%、どうぶ相談約 1.4%）であるため、センター側からの適切な情報提供が継続的に必要であると思われる。
- 4 『教育相談』の利用は、「機会があれば利用したい」「利用する予定はない」併せて約 1 割を越えており、特に高等学校の利用（18.1%）が最も多くなっている。相談件数は年々、増加傾向にある。

「研究」及び「意見・要望」

1 平成 24 年度の研究「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」(国語・数学・英語)、「校内授業研究の進め方ガイドブックⅢ」は、どの校種においても活用数が多く、学校現場のニーズに応じた研究内容であったことが読み取れる。特に「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」は中学校の 92%で活用されており、紙媒体の配布と合わせて、各学校の実態に合わせてアレンジができるようにデジタルデータも提供されており、副教材や学習プリントとして有効に活用されているものと考えられる。

平成 25 年度の研究では、「スマートフォンにおける情報モラル指導教材」の研究成果物が学齢が高くなるにつれて活用割合の高まりが見られる。児童生徒の所持率に比例した指導の必要性が生じているものと思われる。また、「学習指導要領を具現化する小・中・高等学校国語科授業づくりガイドブック「読むこと編」」は、小・中学校で多く活用されている。

平成 23 年度以前の研究では、「校内授業研究の進め方ガイドブックⅠ・Ⅱ」と「Gアップシート」が多く活用されている状況である。

研究成果物が具体的な校種を示しているものについては、該当する校種での活用割合の高さが見られるものの、他校種での活用割合はやや低い状況にある。このことから同一教科でありながらも、校種を特定した研究成果物は該当校種以外では活用されにくい状況にあると考えられる。

一方で、「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」については、中学校を対象としたものであるものの、中学校での活用割合の高さが抜き出ているのに加えて、全校種で高い活用割合が示されている。小・中・高等学校の系統的な学習指導を考える上で参考となる内容であったことが、活用割合の高さにつながっているものと思われる。

2 研究成果物の情報入手方法については、全ての校種においてセンターWeb ページの活用が最も割合として大きくなっている。必要に応じてセンターWeb ページから関連する内容の研究成果物を入手、活用しているものと思われる。

また、岩手県教育研究発表会を通じての研究成果物の入手では、校種ごとに差異が見られるが、研究発表会への参加者数を反映していると思われる。

メールマガジンについては、発信内容が充実しているにも関わらず、各校では閲覧者が管理職や事務に限られているケースが多いという実態があるようである。

3 研究ニーズが高いものとして、以下のものがあげられている。

【小学校】

- ・小学校版Gアップシート
- ・特別な支援を要する児童と他の児童たちへの指導・支援の在り方(授業のユニバーサル化、インクルーシブ教育等)や保護者との関わり方
- ・学力向上を図るための授業、家庭学習指導、家庭との連携、調査や結果の生かし方など全体的なコーディネート

- ・これからの道徳教育の在り方（授業の在り方，副読本の活用）
- ・いわての復興教育の具体的な推進の仕方
- ・思考力・判断力・表現力を高める（はぐくむ）授業の在り方についての研究

【中学校】

- ・通常学級における特別な支援を必要とする生徒の指導法
- ・免許外担当者向けの実技教科に関わる指導マニュアル（評価や指導の実践例を含む）
- ・「分かる授業」（県の指導指針内容の具現化）及び生徒の力を伸ばすための授業改善，効果的な学習指導の在り方
- ・学力向上に関わるGアップシートの他教科版

【高等学校】

- ・アクティブラーニング型の授業づくり
- ・観点別評価とその評価に適した授業改善

【特別支援学校】

- ・特別支援教育における児童生徒のアセスメントとそれを生かした授業づくり
- ・小中高をつなぐキャリア教育についての研究

学校では，明日すぐに活用できる研究や成果物が期待されており，具体的な実践を進める手がかりとして，研究・研修を通して実践方法を求めているものと考えられる。

【幼稚園についての分析結果】

「研修」について

- 1 「研修」に関して、以下の3点について多く意見が寄せられた。
 - (1) 【幼児理解】に関するもの（22／160回答中）
 - ・ 幼児教育の基本と思われるため
 - ・ 幼児の姿を様々な視点で読み取れる力をつけたい など
 - (2) 【指導と評価に生かす記録】に関するもの（22／160回答中）
 - ・ 指導計画の見直しを図っているので、見直しの視点などを指導して頂きたい
 - ・ 評価に生かす記録のしかたについて学びたい など
 - (3) 【学校評価】に関するもの（22／160回答中）
 - ・ 学校評価の作成や生かし方
 - ・ 子育て新制度の観点から、子育て支援・学校評価について知りたい
 - ・ 学校評価の有効的な方法を探る など

- 2 学校教育室担当で、「園長等運営管理協議会」「保育技術協議会」「幼稚園教育研究協議会」「子育て支援協議会」等の研修会が行われており、上記の内容も取り上げられている。しかし、回答した34名（41名中）が管理職であり、「上記の研修を取り上げて欲しい」という意見を踏まえると、さらに詳しく充実した内容にしていかなければならないと考える。

学校教育室と連携を図り、既存の研修講座の中に上記の研修項目を位置付け、内容を充実させていく必要があると考える。

平成 26 年度

総合教育センターの研修・支援・研究業務の推進に関する調査結果

～現場に役立つ教育センターを目指して～



岩手県立総合教育センター 2015.06